

## テーマ「学生の主体的な 5S 活動を促進するための訓練手法の検討」

高齢・障害・求職者雇用支援機構 香川支部

四国職業能力開発大学校 吉崎 元二

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、「厚生労働大臣賞入選」という栄誉ある賞を賜り、たいへん嬉しく思っております。また、論文の執筆にあたり、ご支援、ご協力をいただきました関係者皆様にこの場をもってあらためて感謝申し上げます。

本論文のテーマの 5S は、現場の教育訓練は「安全衛生」などの講義が中心で、実技的な訓練は実習科目内での訓練に関する安全教育にとどまっています。その為か、実習中は作業台の上が測定器や工具が乱雑に置かれており、教員が指導するまで整頓できない学生がいる現状があります。「5S が出来ていると感じているのか?」、「5S の重要性を理解できているのか?」など学生は考えているのか、私自身の疑問がこの取組みを実施したきっかけです。

本論文では始めに、学生の 5S に対する意識をアンケートで確認しています。このアンケートでは、学生自身は「5S を実施できている。」と思込みの結果が明確となりました。そこで、アンケート結果と機械加工実習時の整理・整頓できていない作業風景写真を提示し、5S が実施できていないこと、不十分であることを意識付けしています。ここから、5S の実技課題を実施することをポイントにし、5S 活動への意識の変化について結果をまとめました。

5S の実技課題を実施した後、機械工具の管理方法に関する改善意見を申し出る学生や、改善作業を行いたいと自主的に申し出る学生が居たことは、意識変化に繋がった取組みの結果であったと考えています。今後社会に出てからも現場で活躍できることを期待しております。

最後に、この賞をいただいたことに満足せず、学生への教育訓練の質向上へとさらに努力していく所存であります。皆様のご指導、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い致します。